

クラウド実践テーマ：顧客満足度の向上、従業員満足度の向上、業務効率の改善

業種：製造業（光学カメラレンズ加工）

企業名：比企光学株式会社（埼玉県小川町）

【従業員数：18名】

クラウドの自社製作は負担だが、自分でできると導入効果は大きい

1 経営課題（目標設定）

・生産工程を担う機械の稼働で偏りが生じることで、特定の機械の破損につながり工程全体がストップすることから、機械の稼働状況の見える化をする。

2 クラウド実践による課題解決

・機械にセンサーを取り付けて、機械の稼働状況をクラウド上に収集し、どこでも誰でも監視できる環境を実現した。

・当初は、オンプレ型のサーバー導入を検討したが、必要以上の機能が付くことや、導入コストが高額である事から断念した。

・経営理念（自ら考え、自ら行動し、自ら成功しよう。失敗をたくさん経験しよう。困難なことは失敗するしそこに価値が生まれる。）に基づきシステムを自社製作することとしたため、利用するクラウドサービスの選定に苦労した。クラウド上で行うプログラミングは特に知識が不足していて難航した。

3 導入したクラウドサービス（導入期間：6ヶ月）

・IBM CloudにおけるIoTプラットフォームを利用した自社製作。

4 課題解決に向けた組織運営

・できる限り安価で必要最小限の機能で小さくスタートすることとした。途中で技術的な問題点が発生したが、よらず支援拠点、中小企業庁ミラサポの専門家の派遣など公的機関の支援を最大限活用した。

・この仕組みは1年くらいかけて、専属の担当者1名で構築した。

5 実践事例の成果

・小規模な事業者にとってクラウドサービス導入は負担であるが、支援やアドバイスをしてくれる機関も多く、自分でやってみることで導入コストを大きく下げることができる。